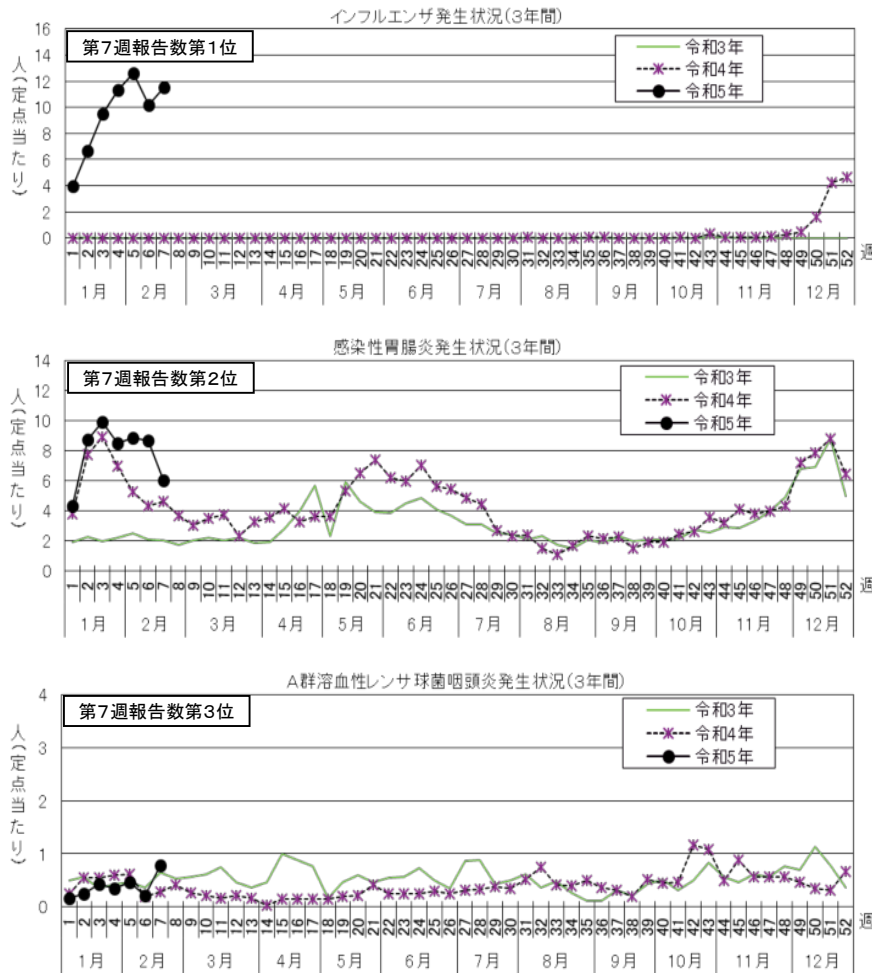


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年2月13日（月）～令和5年2月19日（日）〔令和5年第7週〕の感染症発生状況

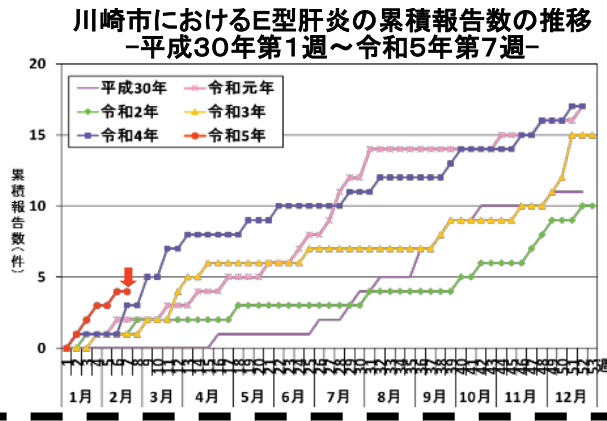
第7週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は11.56人と前週（10.21人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.03人と前週（8.68人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.78人と前週（0.22人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



## E型肝炎の報告が続いています！

川崎市における令和5年のE型肝炎の報告数は、過去5年で最多であった昨年に引き続き、本年も報告数が多い状況が続いており、令和5年第7週（2月13日～19日）までに、すでに計4件となりました。

E型肝炎は、主にE型肝炎ウイルスに汚染された水や食物を摂取することで感染するとされており、国内においても、生又は加熱不十分な肉等の喫食が感染の原因と推定された事例が複数あります。E型肝炎ウイルスは、加熱により感染性を失うため、豚レバーやイノシシ肉、鹿肉等は、中心部まで十分に加熱してから食べましょう。



### E型肝炎とは？

**【病原体】**  
E型肝炎ウイルス

**【潜伏期間】**  
2～9週間（平均6週間）

**【主な症状】**  
発熱、食欲不振、悪心・腹痛等の消化器症状、倦怠感、黄疸など  
※不顕性感染が多いが、稀に劇症化する。

**【主な推定感染原因】**  
生又は加熱不十分な肉等の喫食（豚レバー、イノシシ肉、鹿肉等）

**【治療法】**  
対症療法

**【予後】**  
比較的良好であり、自然軽快する例が多い。  
※妊婦が感染した場合は劇症化しやすく、致死率が20%に達することがある。